



2021年12月期 決算説明会

株式会社 J M C

証券コード：5704

2022.2.25

© JMC Corporation All Rights Reserved.

1. 2021年12月期 全社業績概要

2. 2021年12月期 事業別業績概要

3. 2022年12月期の取り組み

1. 2021年12月期 全社業績概要

2. 2021年12月期 事業別業績概要

3. 2022年12月期の取り組み

Cross-functional & 提案力

他社にできない事業シナジー

製造業にできないサービスレベル

ニッチトップを狙えるプロダクト創出

他社にできない事業シナジー

実現したこと

- ✓ 協業プロジェクト「3D innovation Hub (3DiH)」を発足し、国内3Dプリンター業界の閉塞感に一石を投じた
- ✓ CTスキャンサービス+CAE解析(株式会社JSOL様)を付加したサービス提案を開始

課題

- ✚ 3Dプリンターによる製作で広がる可能性の共感・浸透には継続的な啓蒙活動が不可欠
- ✚ 対象物CTスキャンによる実物を通じた分析・解析のメリット訴求は初期段階

自社の事業領域に捉われない成長・拡大を模索

製造業にできないサービスレベル

実現したこと

- ✓ 量製品の生産効率化・安定供給への取り組みを開始
- ✓ 「JMC HEAD」の開発・実車への搭載を経て新たなプロジェクトも開始

課題

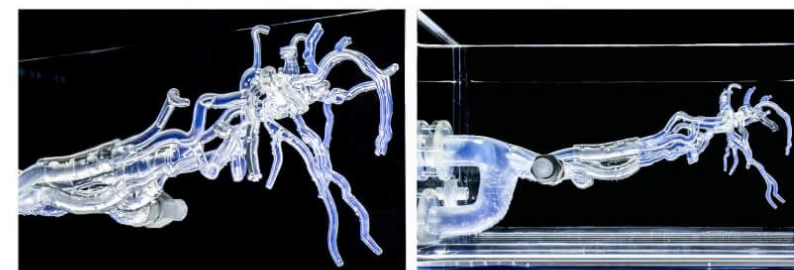
- ✦ 増加する量産案件に対応するため、最適な人員・設備構成の検討に着手

「トヨタ生産方式」を導入し、効率的なものづくりを促進
レストア分野ではカスタム対応力を活かし、愛好家を中心に支持を獲得

ニッチトップを狙えるプロダクトの創出

実現したこと

- ✓ 医療用シミュレーターのプラットフォームを目指したブランド「JMC Lab」立ち上げ
- ✓ 胆管造影シミュレーター「BILE 360」を開発、JMC Labから発売
- ✓ 「HEARTROID (ハートロイド)」では脳梗塞症例に対応した「NV (Neurovascular) モデル」を開発・発売



第4四半期会計期間（2021年10月～12月）で業績挽回達成

～これらの状況を踏まえて2022年2月1日に業績見通しの修正を実施

事業	対象	第3四半期まで	第4四半期
3Dプリンター 出力事業	試作造形 HEARTROID 医療モデル	移動制限に対しWEB営業を展開 海外で購入判断のスピードが鈍化 美容整形分野のニーズ発掘が進む	積極的なWEB営業で潜在的な需要を発掘 的を絞った海外出張で購入判断促進 胆管造影シミュレーター「BILE360」売上貢献
鑄造事業	輸送機器関連 FA関連	試作案件の低迷・凍結が相次ぐ 生産効率改善の検討～着手	常に顧客視点の営業活動を重視し受注獲得 生産効率改善により需要増に対応
CT事業	マーケティング 装置販売	新規・休眠顧客にサービス訴求	新規・休眠顧客からのスキャン受注増加 柔軟な提案活動により当社CT装置売却を実施

2021年12月期 業績ハイライト 修正前見通し比

単位：百万円	2021年12月期 修正前見通し	2021年12月期	増減額	増減率
売上高	2,584	2,416	△ 168	△ 6.5%
営業利益	26	102	76	292.3%
営業利益率	1.0%	4.2%	-	3.2P
経常利益	56	153	97	173.2%
経常利益率	2.2%	6.3%	-	4.1P
当期純利益	37	114	77	208.1%

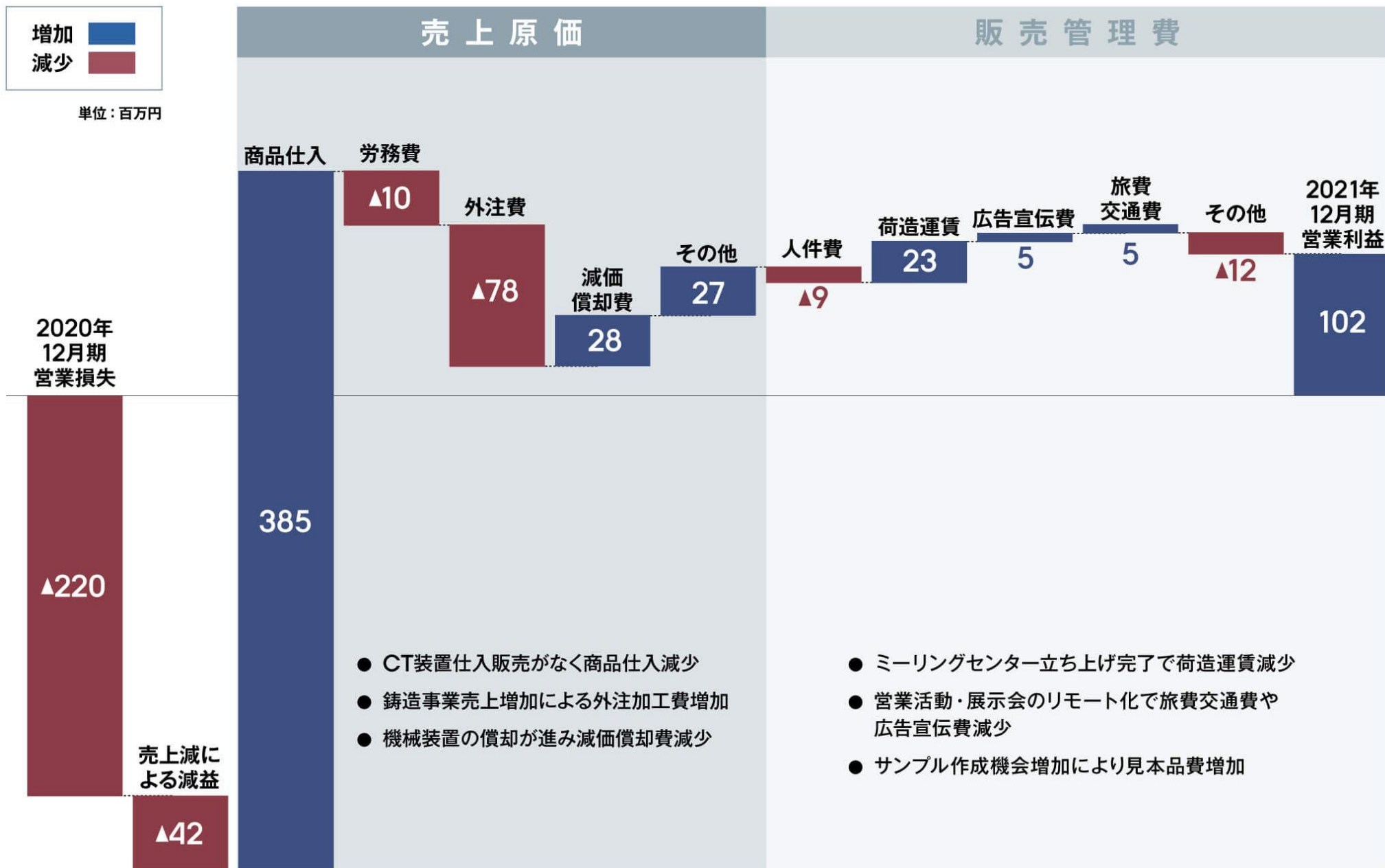
各利益項目で大幅な上振れ

2021年12月期 業績ハイライト 前年比

単位：百万円	2020年12月期	2021年12月期	増減額	増減率
売上高	2,458	2,416	△ 42	△ 1.7%
売上総利益	568	877	308	54.3%
売上総利益率	23.1%	36.3%	-	13.2P
販売費及び一般管理費	789	775	△ 13	△ 1.7%
営業利益又は営業損失	△ 220	102	322	-
営業利益又は営業損失率	△ 9.0%	4.2%	-	13.2P
経常利益又は経常損失	△ 206	153	360	-
経常利益又は経常損失率	△ 8.4%	6.4%	-	14.8P
当期純利益又は当期純損失	△ 173	114	287	-

主力の鑄造事業が持ち直し、黒字化を達成

営業利益 増減分析



単位：百万円	2020年12月期	2021年12月期	増減額	増減率
流動資産	1,121	1,280	159	14.2%
固定資産	2,662	2,527	△ 135	△ 5.1%
資産合計	3,784	3,808	24	0.6%
流動負債	820	969	149	18.2%
固定負債	878	638	△ 239	△ 27.3%
負債合計	1,698	1,608	△ 90	△ 5.3%
純資産合計	2,085	2,200	114	5.5%
自己資本比率	55.1%	57.8%		

【資産】 第4四半期の売上増加により売掛金が増加
 【純資産】 当期純利益の計上により増加

【負債】 長期借入金が減少
 【自己資本比率】 安定した財務基盤を堅持

キャッシュ・フロー計算書 サマリー

単位：百万円	2020年12月期	2021年12月期	増減額	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 28	456	485	-
固定資産の取得による支出	△ 251	△ 140	111	44.2%
その他	2	28	26	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 249	△ 111	137	55.2%
短期借入金の純増減額（△は減少）	300	-	△ 300	△100.0%
長期借入れによる収入	64	-	△ 64	△100.0%
長期借入金の返済による支出	△ 126	△ 136	△ 10	△ 8.2%
セール・アンド・リースバックによる収入	88	-	△ 88	△100.0%
リース債務の返済による支出	△ 120	△ 113	7	5.9%
その他	△ 3	△ 10	△ 6	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	201	△ 260	△ 462	-
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 76	84	160	-
現金及び現金同等物の期首残高	298	222	△ 76	△ 25.6%
現金及び現金同等物の期末残高	222	306	84	37.9%

営業活動によるキャッシュ・フロー

買掛金の増加・当期純利益の計上により増加

投資活動によるキャッシュ・フロー

時期を見極めた設備投資の実行により支出が減少

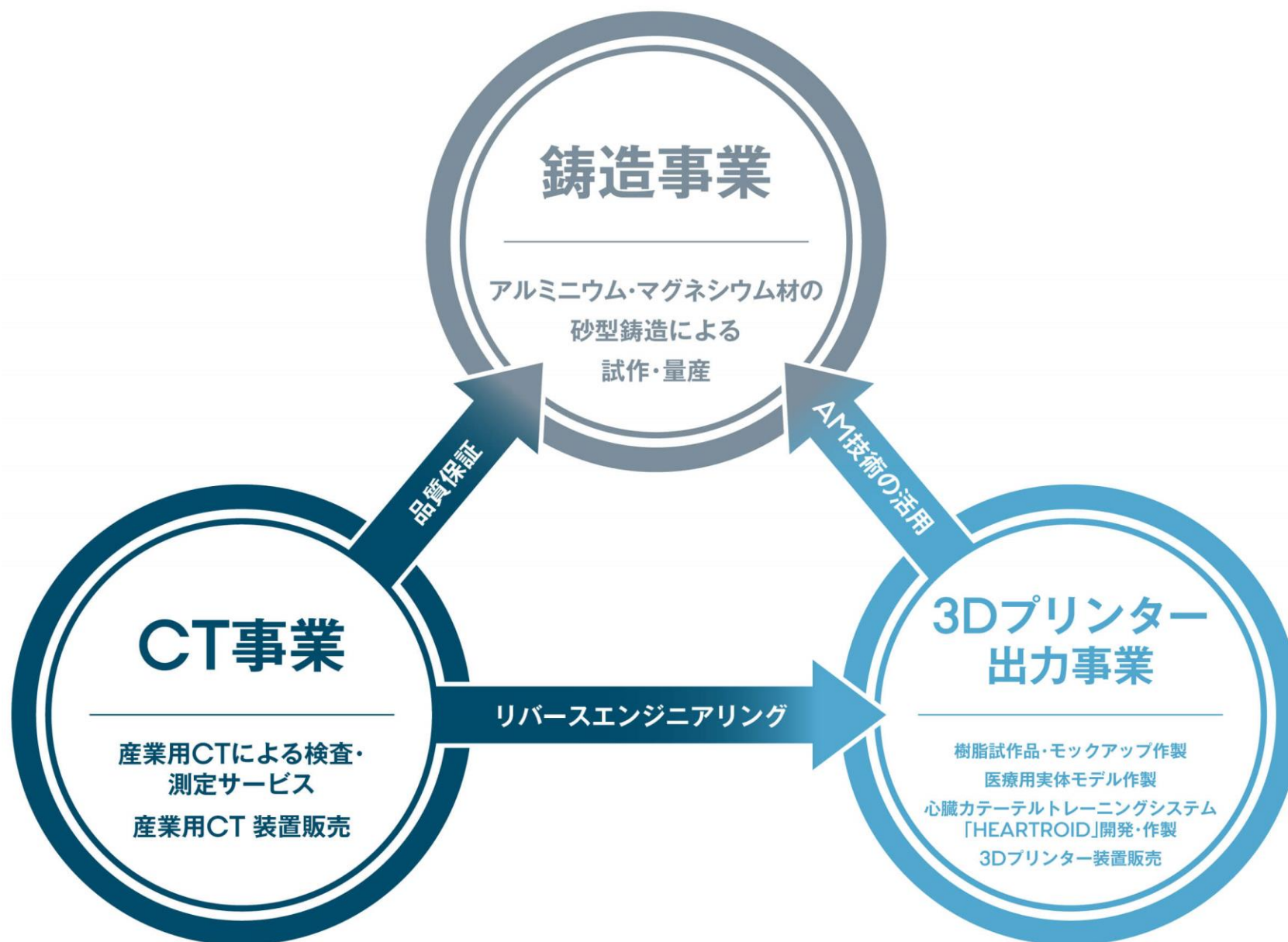
財務活動によるキャッシュ・フロー

コミットメントラインで資金調達枠を確保し、有利子負債を削減

1. 2021年12月期 全社業績概要

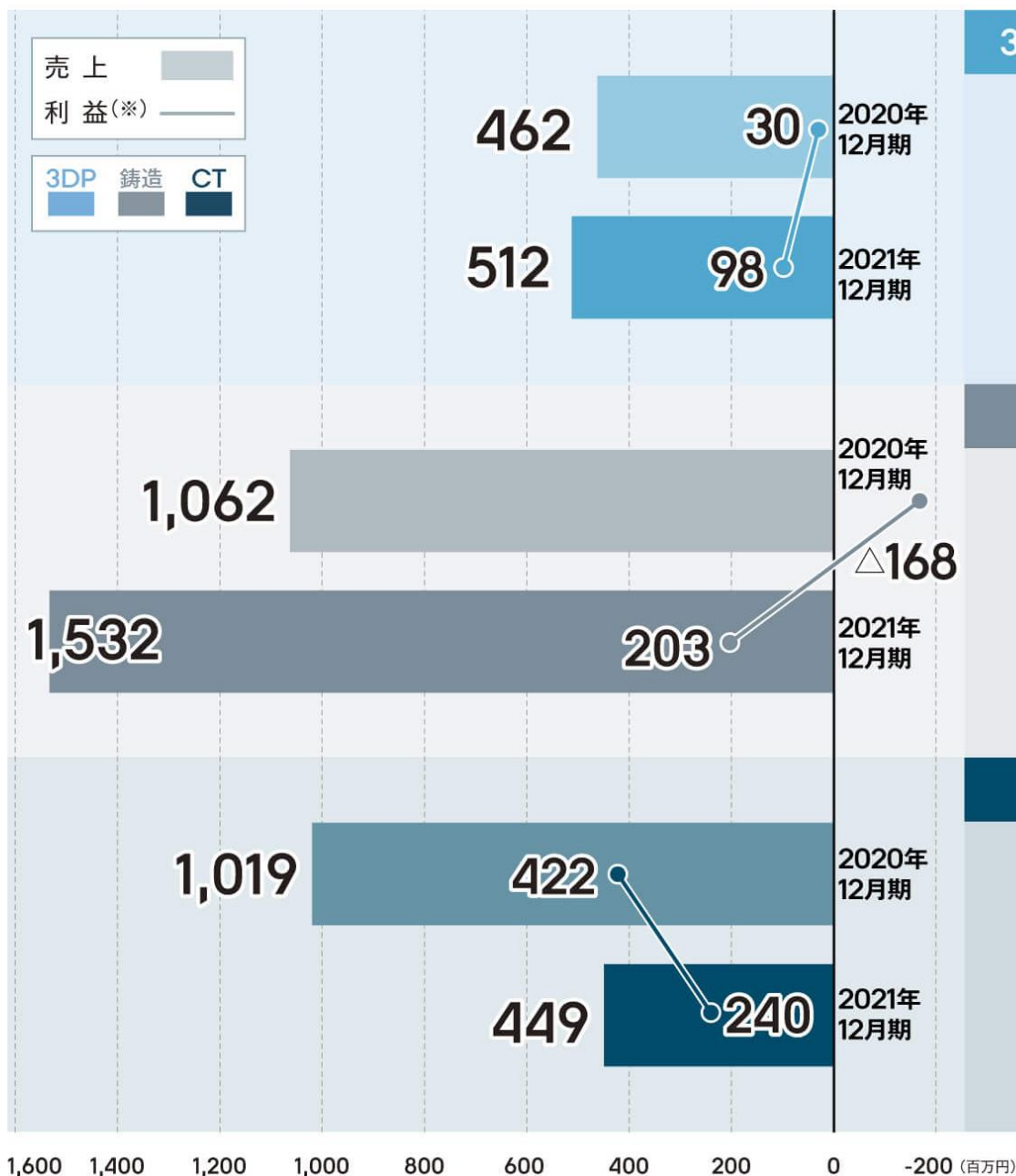
2. 2021年12月期 事業別業績概要

3. 2022年12月期の取り組み



2021年12月期 セグメント別情報

単位：百万円	売上高				セグメント利益又は損失			
	2020年 12月期	2021年 12月期	増減額	増減率	2020年 12月期	2021年 12月期	増減額	増減率
3D プリンター 出力事業	462	512	49	10.7%	30	98	68	227.0%
鑄造事業	1,062	1,532	470	44.3%	△ 168	203	371	—
CT事業 カッコ内は 装置販売	1,019 (497)	449 (0)	△ 570	△ 55.9%	422	240	△ 181	△ 43.0%
その他	△ 85	△ 77	△ 7	△ 9.2%	△ 504	△ 440	64	12.8%
損益計算書 計上額	2,458	2,416	△ 42	△ 1.7%	△ 220	102	322	—



3Dプリンター出力事業

3Dプリンター出力分野は、第4四半期で需給バランスが改善。
医療用シミュレーター、HEARTROIDは通年で堅調維持。

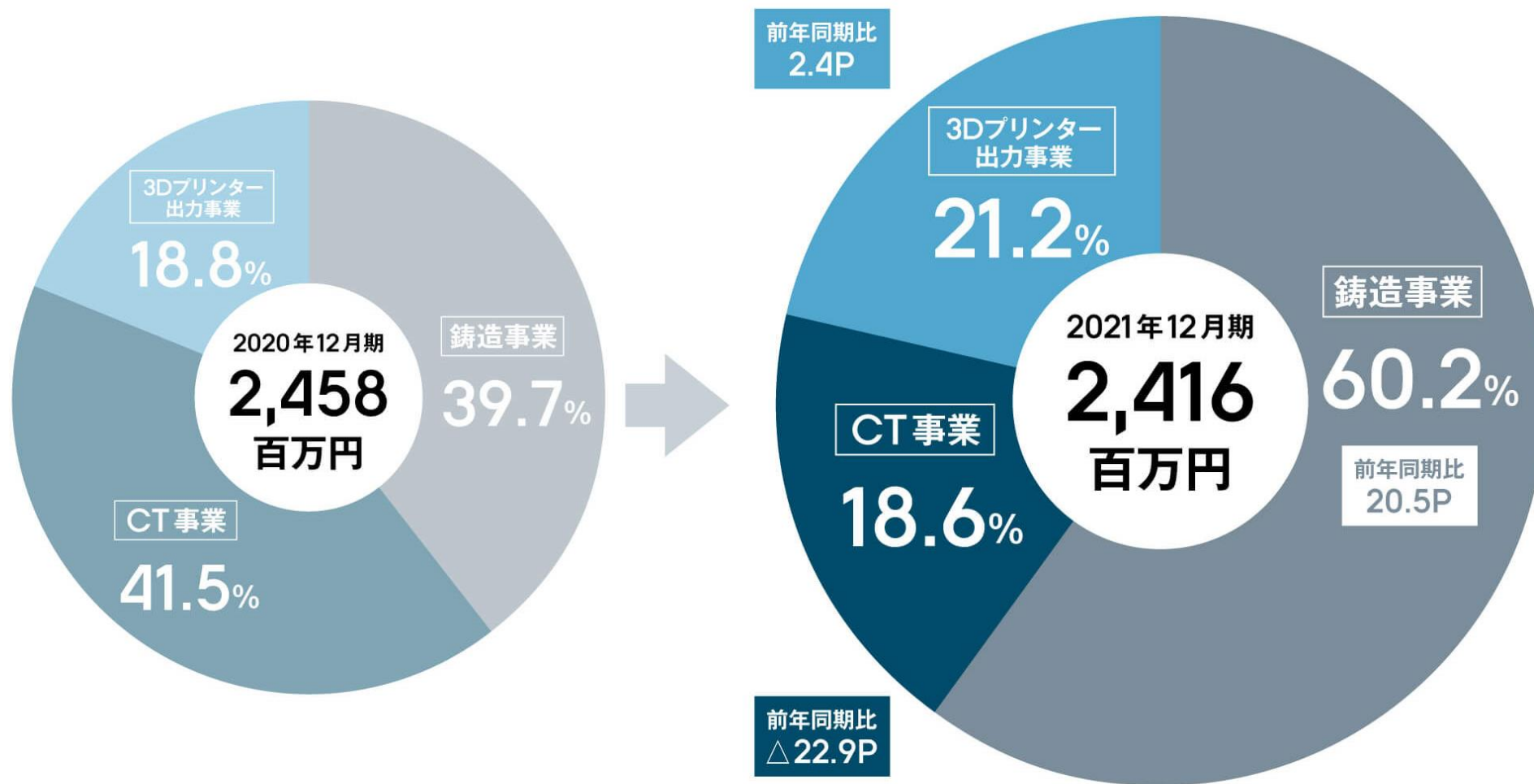
鋳造事業

輸送機器関連の顧客を中心に第4四半期で試作プロジェクトが再開。
FA向け量産部品の需要が増加。

CT事業

マーケティングオートメーションツールを用いた顧客発掘が徐々に効果を発揮。
第4四半期では顧客の装置需要に対し、当社資産CT装置を売却。

(※) 一般管理費控除前のセグメント利益又は損失

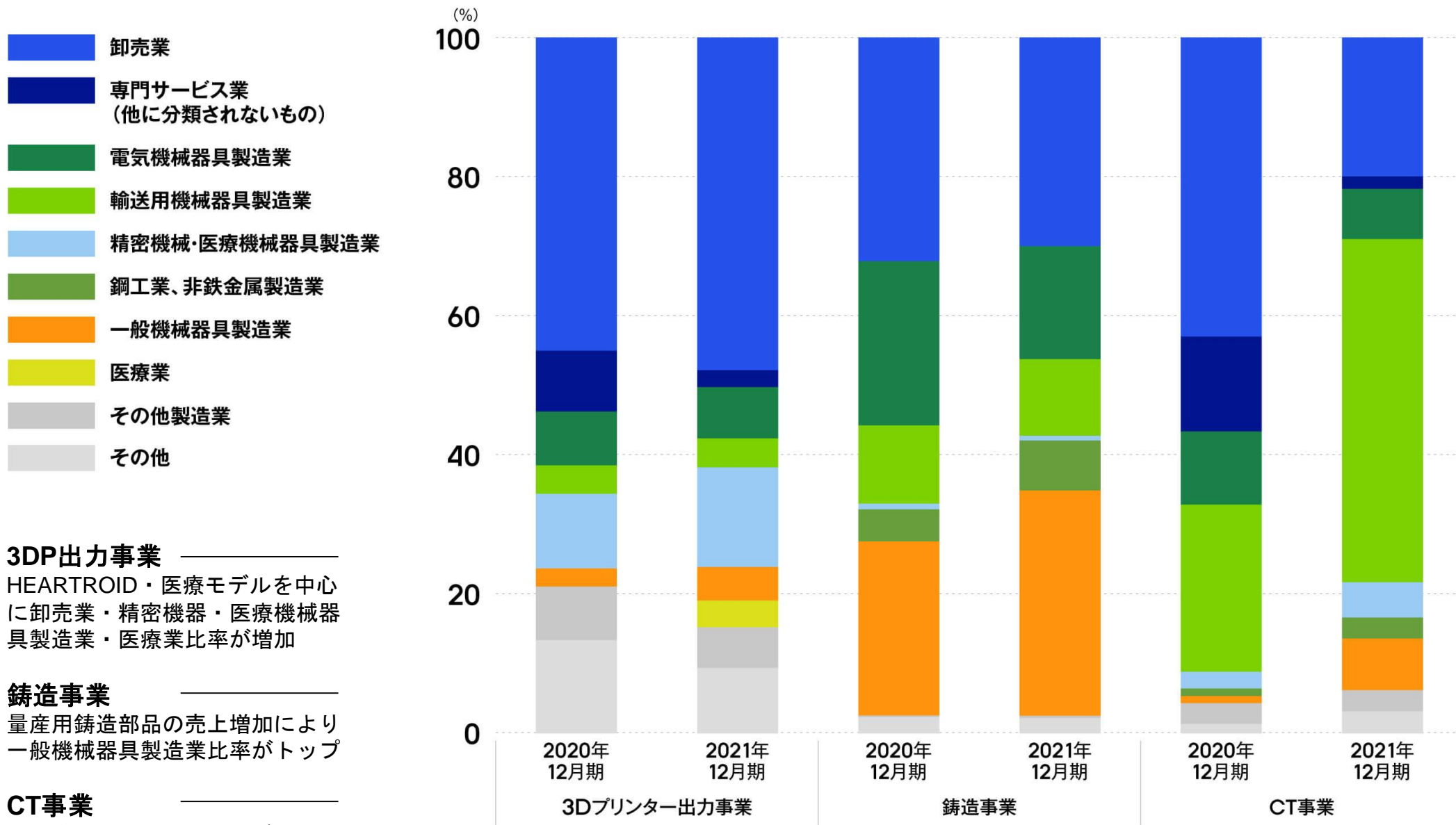


(注) 外部顧客への売上高の比率

2020年12月期

2021年12月期

産業別売上高比率



3DP出力事業

HEARTROID・医療モデルを中心に卸売業・精密機器・医療機械器具製造業・医療業比率が増加

鋳造事業

量産用鋳造部品の売上増加により一般機械器具製造業比率がトップ

CT事業

商流変更により専門サービス業比率が減少し輸送用機械器具製造業比率が増加

1. 2021年12月期 全社業績概要

2. 2021年12月期 事業別業績概要

3. 2022年12月期の取り組み

MADE BY JMC

— 新たな成長局面に備えた原点回帰 —

単位：百万円	2021年12月期	2022年12月期	増減額	増減率
売上高	2,416	3,000	584	24.2%
営業利益	102	273	170	167.2%
営業利益率	4.2%	9.1%	-	4.9P
経常利益	153	258	105	68.5%
経常利益率	6.3%	8.6%	-	2.3P
当期純利益	114	171	57	50.1%

※実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合があります。

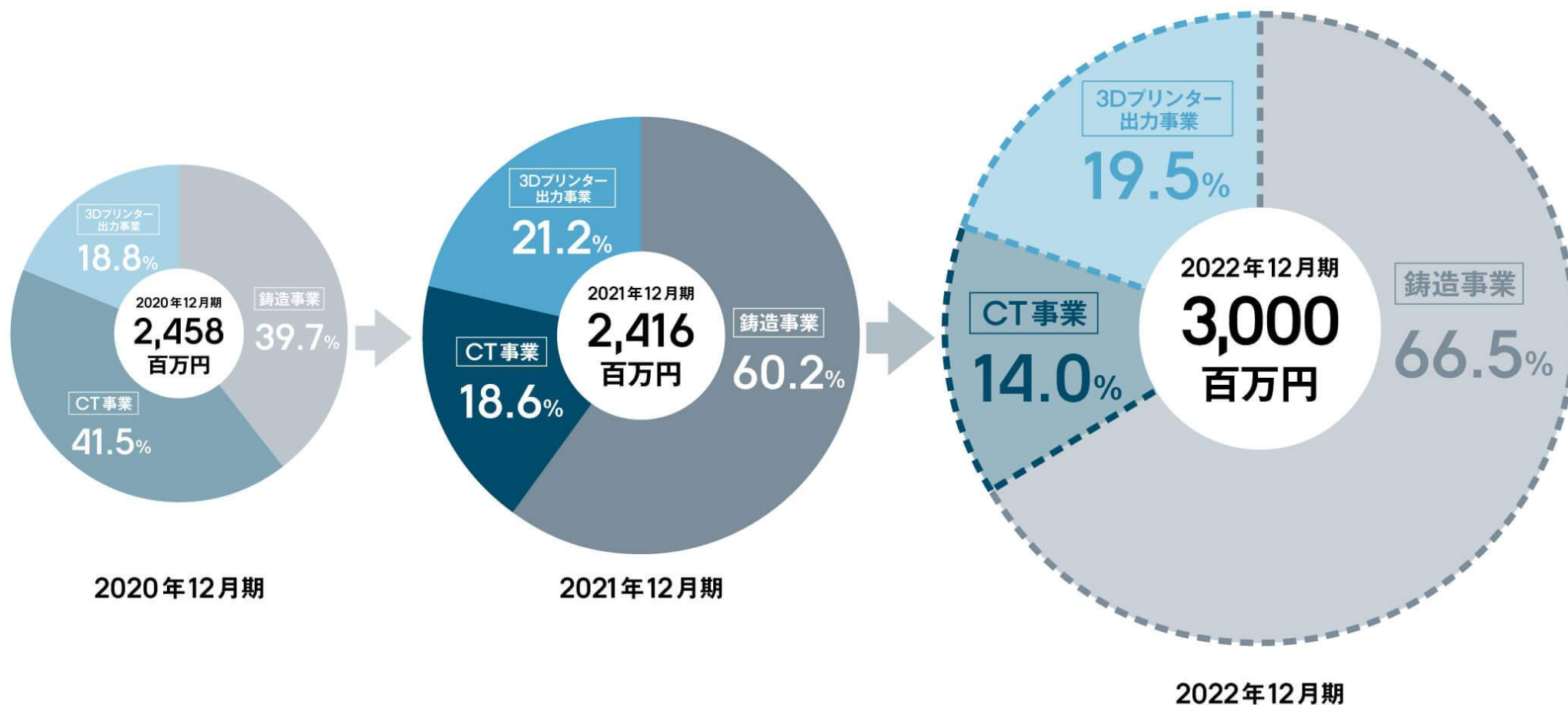
※2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」を適用。

2022年12月期 セグメント別見通し

単位：百万円	売上高				セグメント利益又は損失			
	2021年 12月期	2022年 12月期	増減額	増減率	2021年 12月期	2022年 12月期	増減額	増減率
3D プリンター 出力事業	512	585	73	14.4%	98	138	39	40.3%
鑄造事業	1,532	2,056	523	34.1%	203	337	134	66.2%
CT事業	449	418	△ 30	△ 6.8%	240	251	9	3.8%
その他 (内部取引)	△ 77	△ 60	△ 17	△ 22.1%	△ 440	△ 454	13	3.2%

※実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合があります。

※2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」を適用。



(注) 外部顧客への売上高の比率

伊豆木産業用地 新工場棟建設に向けた検討を継続中



FA分野での量産用鋳造部品は旺盛な
需要状況が継続



高付加価値な鋳造製品を高効率で
生産する工場の建設に向けた検討は
大詰め



マグネシウム鋳造品は、その特長^(*)が
次世代自動車用部品にも適した素材

^(*) 軽量・高剛性・高熱伝導性・高リサイクル性

生産の能力、領域拡張で非鉄鋳造業界のトップを目指す

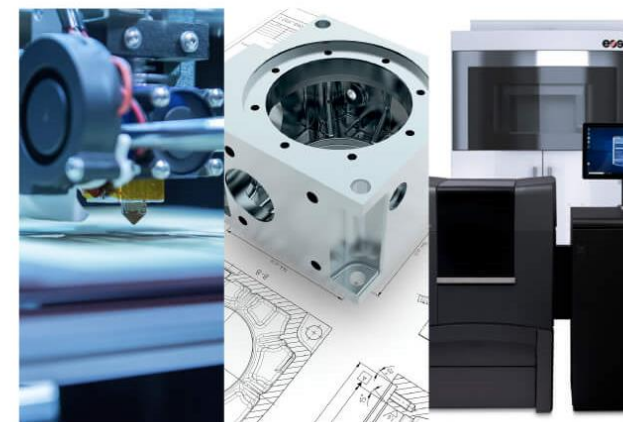
協業プロジェクト 3DiH 本格化



3Dプリンター業界の垣根を超えた技術集団として、普及活動を加速



サービス、デバイスの両面から、革新的なものづくりをトータルサポート



技術および人材交流を通じた、高難度案件への対応力の強化

樹脂3Dプリンター出力サービス專業からの脱却
素材選定から装置販売までワンストップサービスを提供

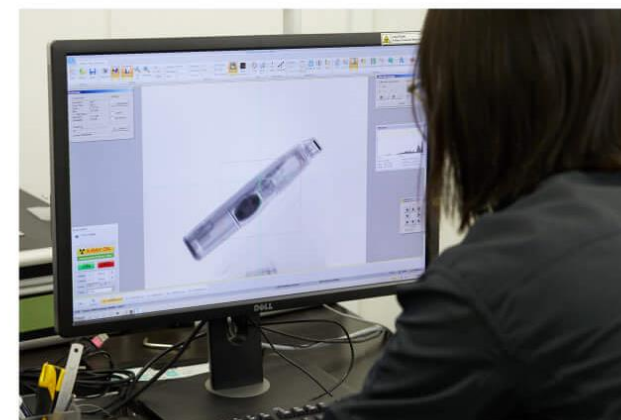
中古CT装置販売 市場開拓を開始



顧客視点で、最も合理的な装置の導入方法を提案



ものづくり会社ならではのノウハウで、装置導入をサポート



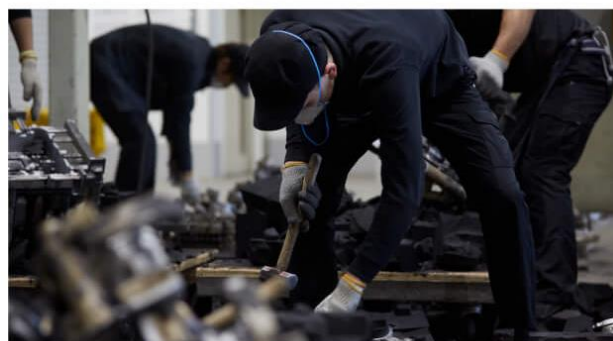
設備調整、スキャン・解析実績が安心に直結

CTスキャンノウハウを有する当社ならではの
装置導入提案

量産鑄造品生産効率の追求のため、 「トヨタ生産方式」によるものづくりを習得



トヨタ自動車株式会社のコンサルティングにより量産のものづくりノウハウを獲得



試作品製造では優先度が低かった効率化・ムダの排除・工程内在庫管理を徹底

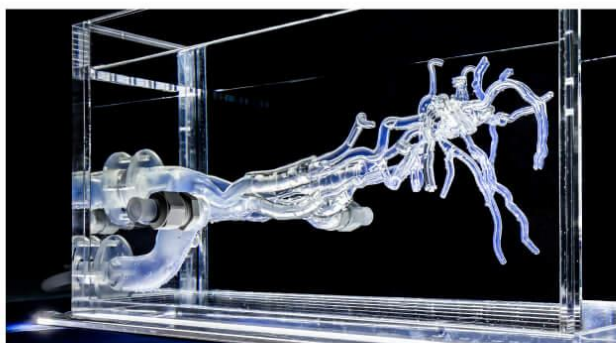


量産品の安定供給と品質向上を両立

JMC版のトヨタ生産方式を「J×T」(ジェイバイティ)と命名
コンセプトセンターを起点として全社で習得を進める

JMC Lab・HEARTROIDプロジェクト

新たな疾患や症例に対応するシミュレーター開発を加速



HEARTROID (NVモデル) は脳疾患の手技トレーニング用途として普及を開始



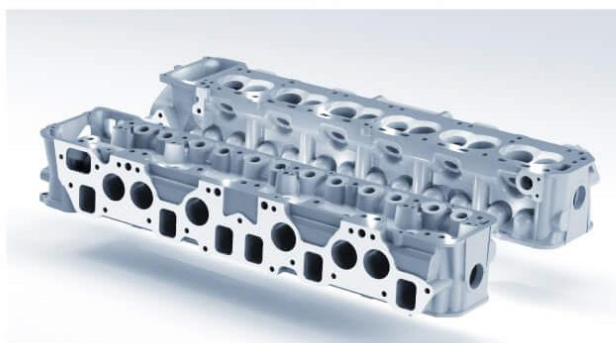
JMC Labでは、泌尿器科分野の手技トレーニングモデルを開発中



症例・疾患のバリエーションを強化

産学連携により、様々な医療用シミュレーターの
開発・上市を計画中

JMC HEAD 市販化に続き 新たなレストアプロジェクトが始動



L28型エンジン用シリンダーヘッドは、世界各地の旧型車ユーザーが注目。(有限会社プラスアルファ様で販売予定)



JMC HEADをきっかけにさらなる旧型エンジンプロジェクトが始動



YouTubeチャンネル『JMC BASE』では、詳細情報を公開

3Dプリンター・鋳造・CTスキャンで培ったノウハウを
希少価値の高い旧型車両中心に投入

Appendix



- [会社名] 株式会社JMC
- [設立] 1992年12月18日
- [資本金] 782,671千円
- [上場市場] 東京証券取引所マザーズ (5704)
- [従業員数] 151名 (臨時雇用者数を含む 期末日時点)
- [代表者] 代表取締役社長兼 CEO 渡邊 大知
- [本社所在地] 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号

当社は2022年4月4日より
東京証券取引所新市場区分
「グロース市場」へ移行いたします。



ホームページのご案内



当社ホームページでは決算情報・プレスリリースのほか、
各事業の詳しい内容を発信しています。

www.jmc-rp.co.jp



コンセプトセンター

長野県飯田市
鋳造事業、CT 事業



ミーリングセンター

静岡県浜松市浜北区
鋳造事業



本社

神奈川県横浜市港北区
3D プリンター出力事業
CT 事業



AMセンター

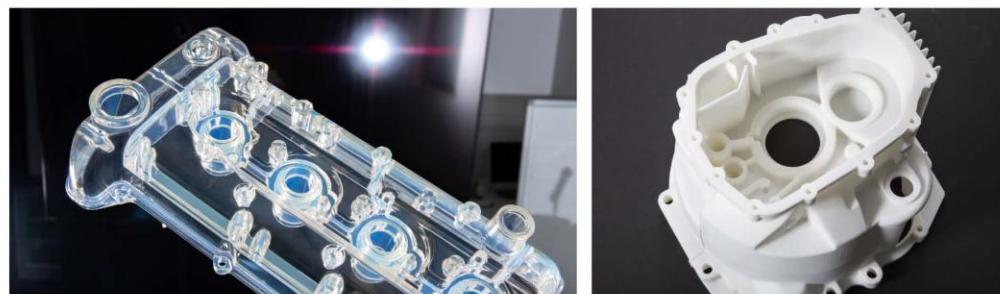
神奈川県横浜市港北区
3D プリンター出力事業





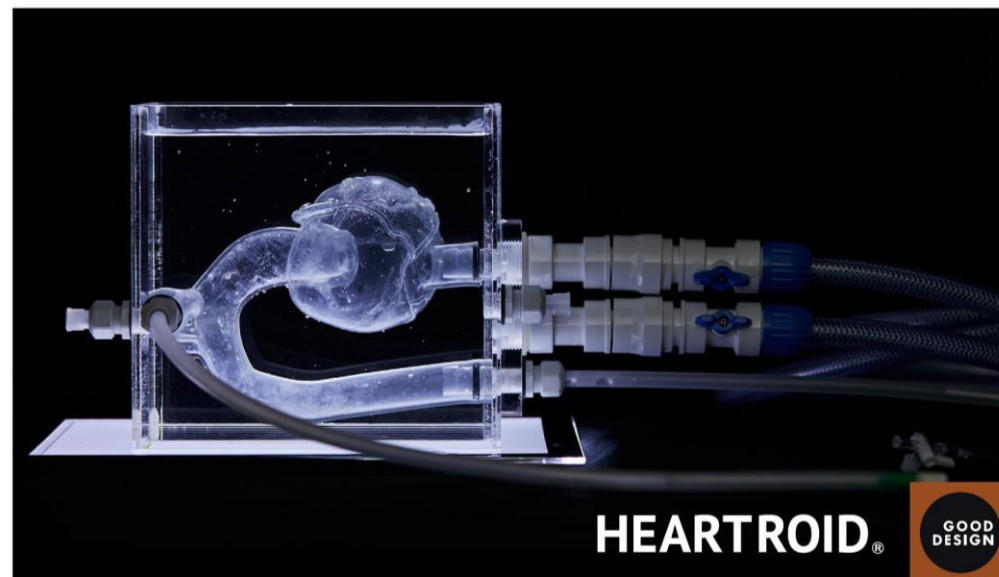
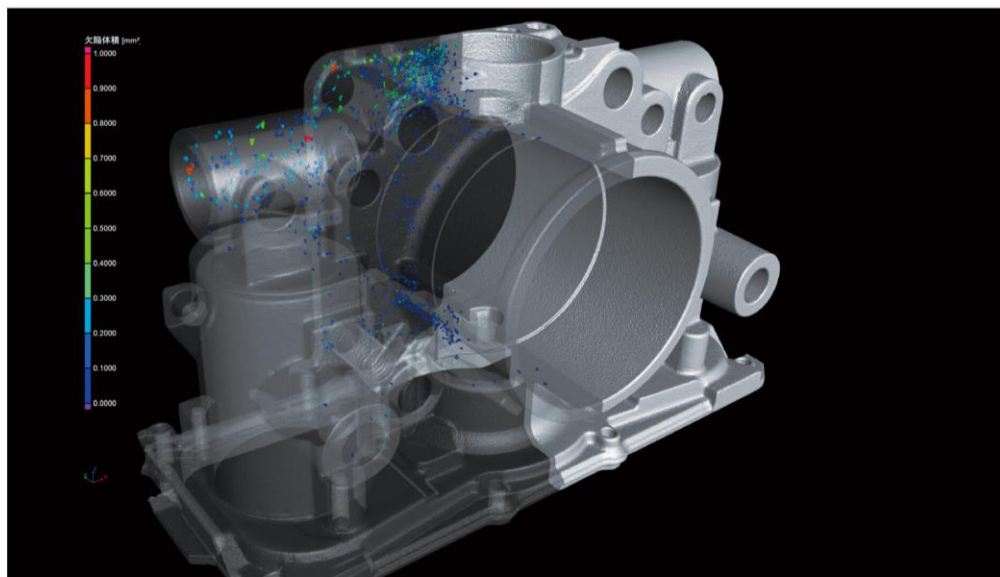
鑄造事業

精密砂型鑄造による試作、量産を行っています。柔軟な材料対応力と、社内一貫生産による短納期対応、産業用CTを始めとする最新機器による高度な品質保証を特徴としています。



3Dプリンター出力事業

工業部品の試作やモックアップを3Dプリンターで製作するサービスを行っています。豊富なキャパシティで短納期化を実現します。また、2020年7月より3Dプリンターによる樹脂製品の量産サービスを開始しました。

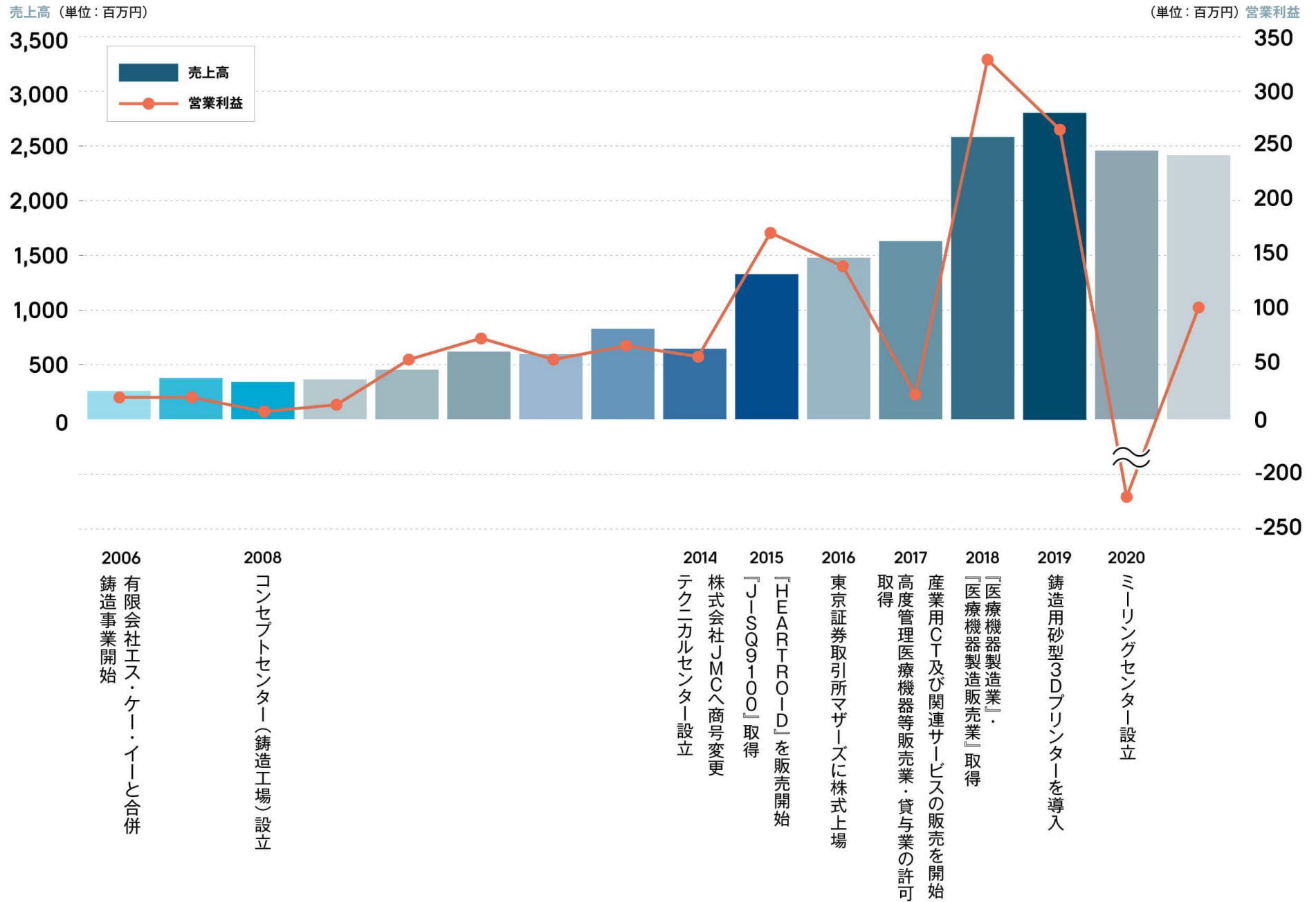


CT事業

産業用CTスキャナを使用した三次元測定サービスを行っています。産業用CTは他の測定方法に比べ、複雑形状や複合部品のスキャンを得意としており、幅広い分野で活躍しています。

メディカル

心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID(ハートロイド)」をはじめとして、3Dプリンター技術を活用したオーダーメイドの臓器モデルや医療用シミュレーターを開発・製造し、治療技術の向上に寄与しています。



JMCサービス案内



JMC コーポレートサイト
jmc-rp.co.jp/



3Dプリンター出力サービス
3d-printout.com/



AM専門サイト
3d-printout.com/am/



鋳造専門サイト
metal-casting.jp/



産業用CTスキャンサービス
jmc-ct.jp/



JMC-Lab
jmc-lab.com/



JMC BASE
jmcbase.com/



CT生物図鑑
ctseibutsu.jp/



3DiH 3D Innovation Hub
3dih.jp/



本説明会および説明資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。

将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本説明会および説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

本資料中に記載されているロゴ・会社（機関）名・製品名は、各社（機関）の登録商標または商標です。

◆本件に関するご連絡先◆

株式会社 J M C 経営企画室

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目 5 番 5 号

電話番号 : 045-477-5751 E-mail : ir@jmc-rp.co.jp